

ユーザーズマニュアル

自動給油装置 LBI
(ヘッド、釜)



まえがき

このユーザーズマニュアルは、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。内容を理解されたうえでご使用ください。

本書は、詳細において本製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

なお、「タジマ刺繍機の基本知識」、および「セットアップ要領書」は、本製品に対する知識を深めていただくうえでお役に立つものと考えておりますので併せてお読みください。

関連する製品の取り扱い方法については、マニュアル CD に収めてある専用のユーザーズマニュアルをご参照ください。

株式会社 **TISM**

安全上のご注意

本製品をお使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表記します。



誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる危険性がきわめて高い注意事項




誤って取り扱うと、死亡あるいは重傷^[*1]となる可能性のある注意事項





誤って取り扱うと、軽傷^[*2]を負う、または物的損害が生じる可能性のある注意事項

*1: 感電、けが、骨折などで後遺症をもたらす、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

*2: 治療に入院や長期の通院を要さないもの。

: 禁止事項

: 守らなければ感電するおそれのある事項

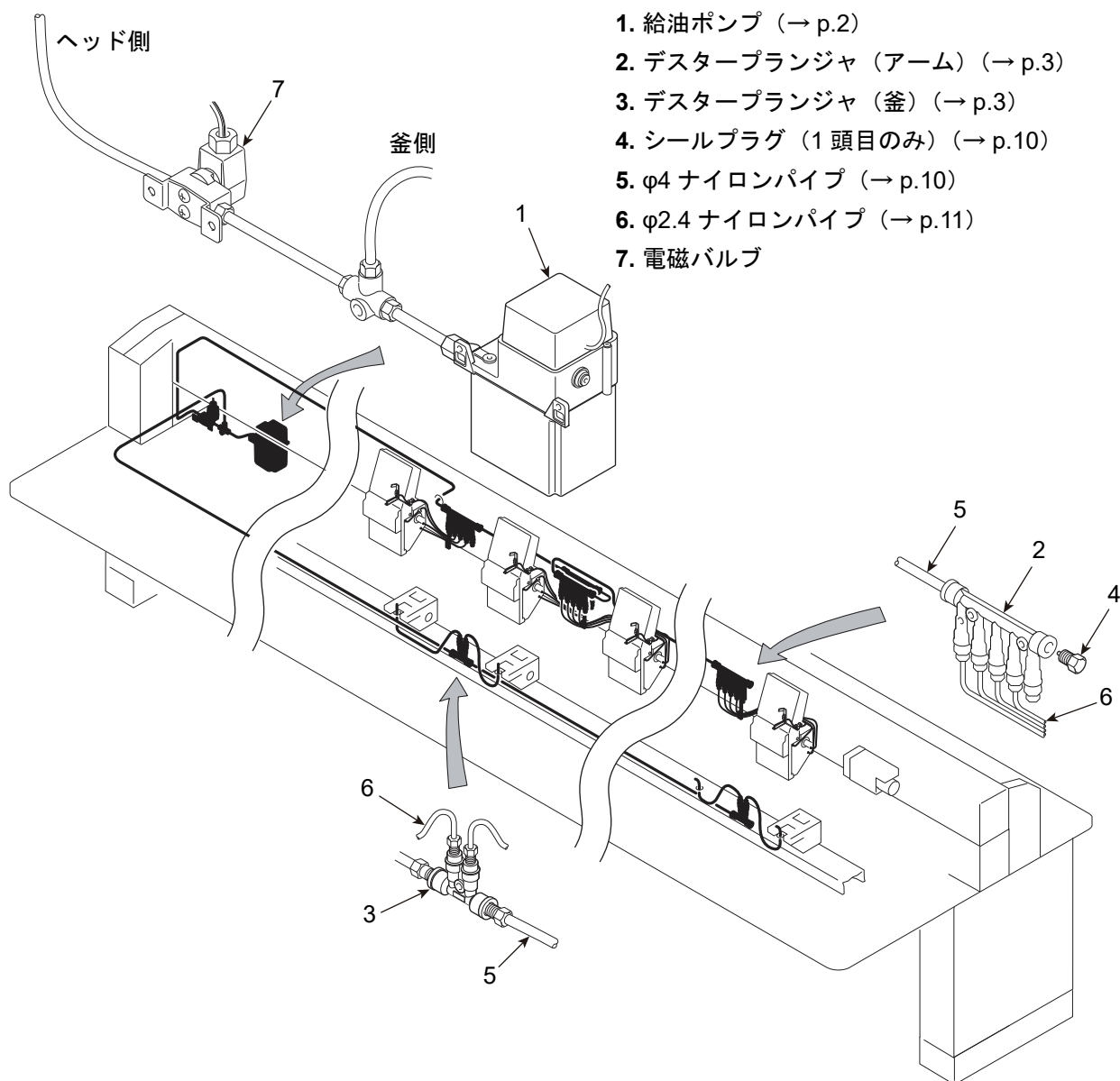
: 安全のために守っていただきたい事項

1.	各部名称	1
2.	給油ポンプ	2
2-1.	オイルが不足したとき	2
2-2.	給油箇所	3
3.	手動給油	5
3-1.	TLMX、TFMX	5
3-2.	TMAR TYPE-2、TMAR-VC、TMCR、TMCP	5
4.	給油サイクルの設定	6
4-1.	TLMX、TFMX	6
4-2.	TMAR TYPE-2、TMAR-VC	7
4-3.	TMCR、TMCP	8
5.	ソフトインストール後の設定	9
6.	メンテナンス	10
6-1.	ナイロンパイプ内のエア抜き	10
6-2.	ナイロンパイプの交換	11

各部名称

1. 各部名称

[代表例]



2. 給油ポンプ

給油ポンプは以下の2種類があります（モデルによって異なります）。

2-1. オイルが不足したとき

注意

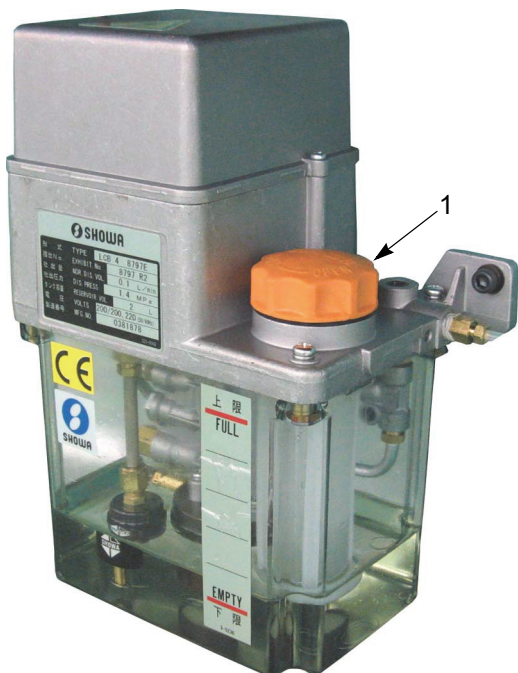
- ❗ 本装置には供給された油を回収する機能はありませんので、1カ月に1度ミシンヘッド底部の点検、および清掃をしてください。
- ❗ オイルは、TFオイル（同梱品）、またはこれと同等品（粘度グレード=VG20相当）を使用してください。

タンク内のオイルが不足すると操作パネルにコード No.251 が表示されます。キャップ（下図 1）を外し、上限レベルまでオイルを補充してください。



タンク容量はどちらも2リットルです。

AC200V



DC24V



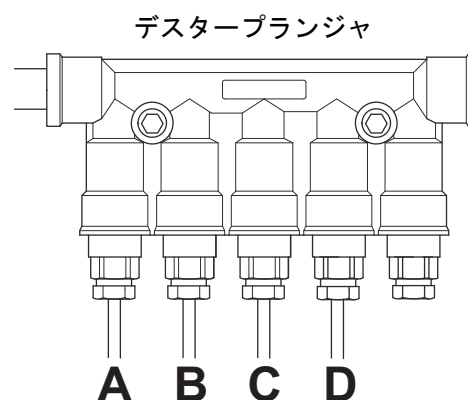
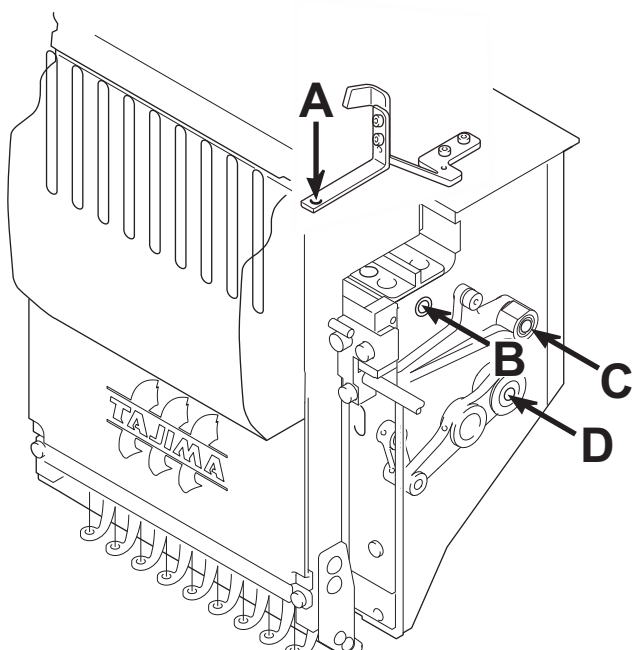
2-2. 給油箇所

! 注意

! ヘッド内部の部品においては、下記に示す箇所以外は油差し（付属品）による給油が必要です。
本機ของผู้ーズマニュアルを参照のうえ、定期的に給油を行ってください。

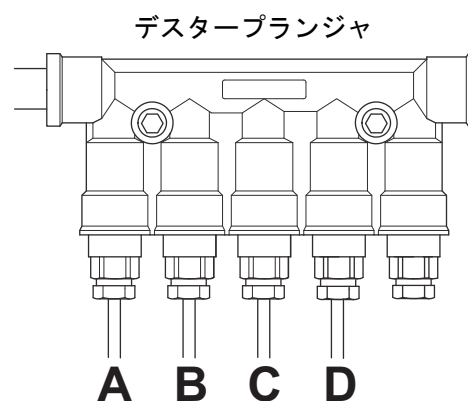
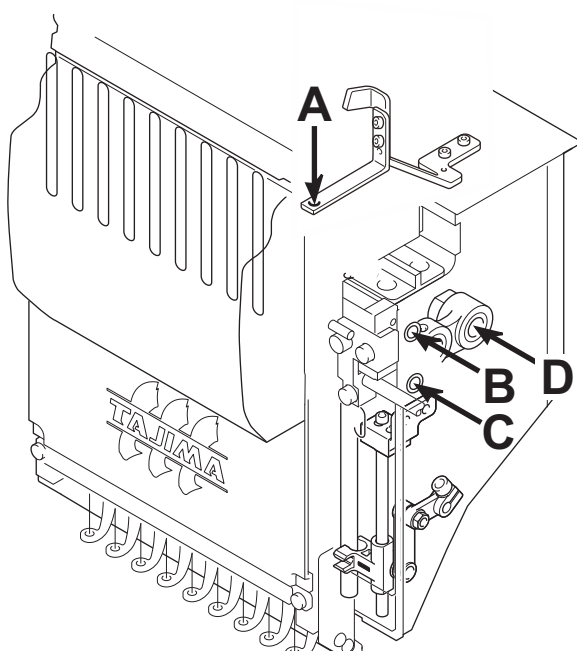
装置は下図に示した箇所（A～D、またはA、B）に給油します。

(1) TFMX



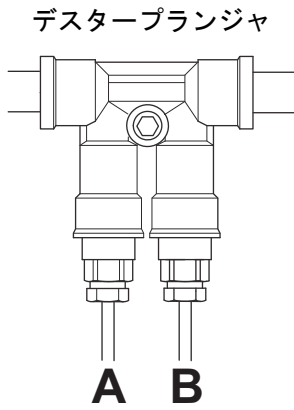
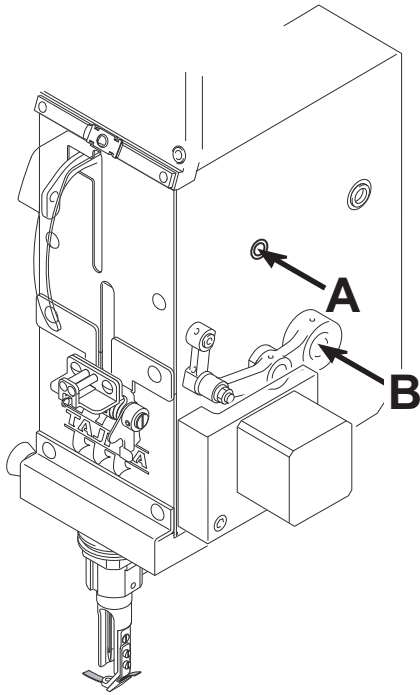
- A : 針棒
- B : 基針棒
- C : 布押え駆動軸
- D : 針棒駆動軸

(2) TMAR TYPE-2、TMAR-VC、TMCR、TMCP



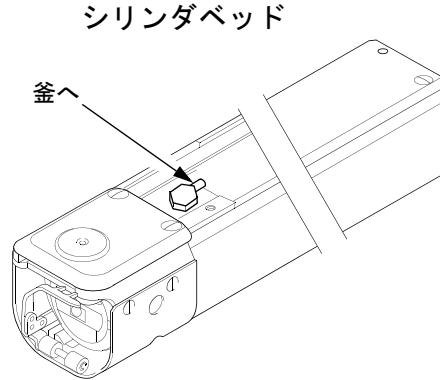
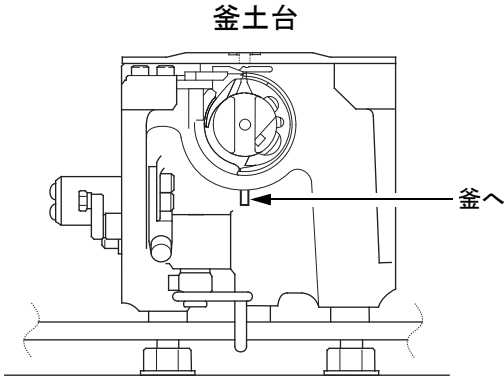
- A : 針棒
- B : 基針棒
- C : 布押え駆動軸
- D : 針棒駆動軸

(3) TLMX



- A : 基針棒
- B : 針棒駆動軸

(4) 釜、シリンダベッド (TFMX、TLMX、TMCR、TMCP、TMAR TYPE-2、TMAR-VC)



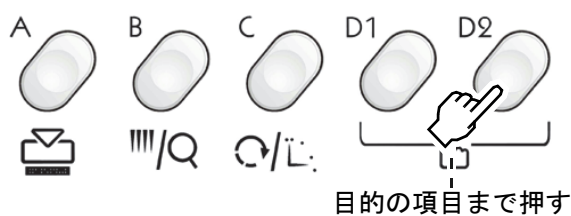
手動給油

3. 手動給油

本機の停止中に、手で装置を作動させて給油します。

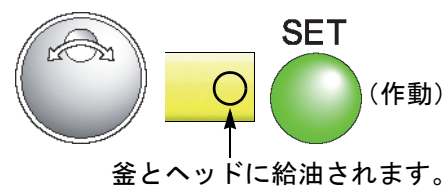
3-1. TLMX、TFMX

(1) 画面を切り換える



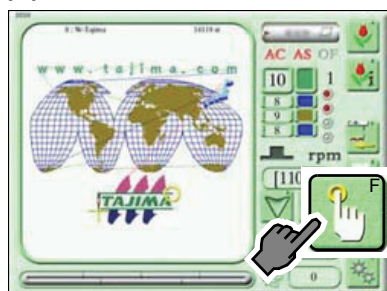
4 手動給油

(2) 「O」を選択し、[セット]する

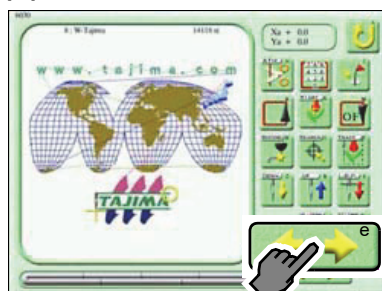


3-2. TMAR TYPE-2、TMAR-VC、TMCR、TMCP

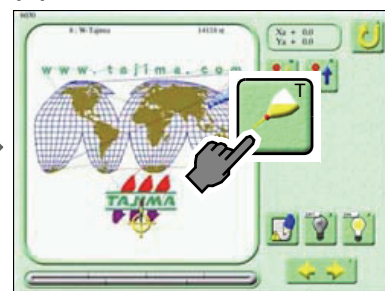
(1) アイコンF



(2) アイコンe



(3) アイコンT



(4) アイコンd (完了)



R.H^d 釜に給油する。

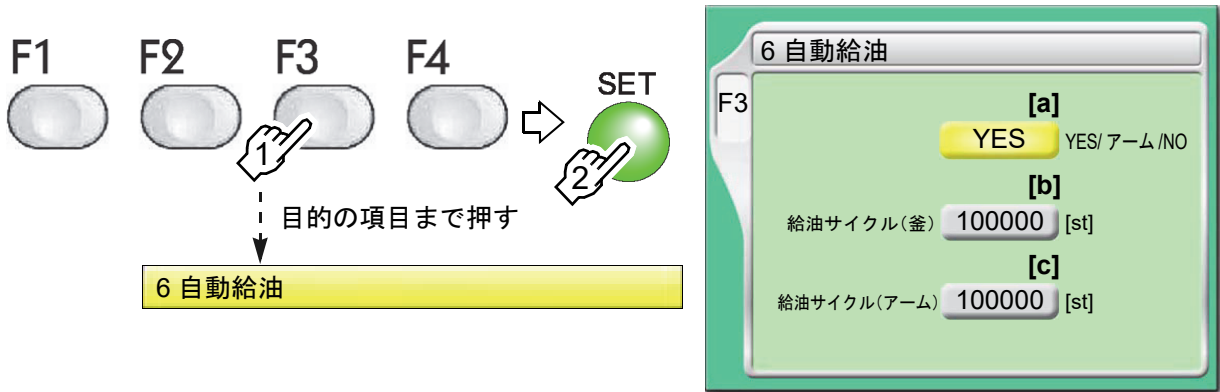
R.H^u
Head 釜とヘッド内部に給油する。

4. 給油サイクルの設定

本機の稼働中、設定したステッチ数（給油サイクル）に達すると装置が自動で給油します。釜とヘッドへの給油サイクルは個別に設定します。

4-1. TLMX、TFMX

(1) 画面を呼び出す



< 画面説明 >

[a] 装置のタイプ

YES：ヘッド内部と釜に給油するタイプ

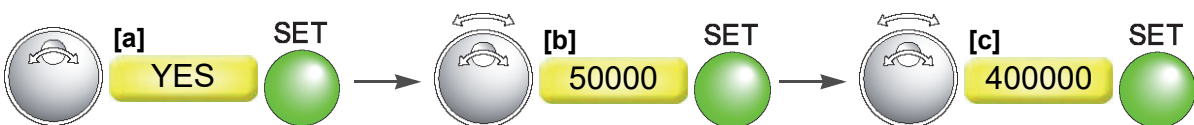
アーム：ヘッド内部に給油するタイプ

NO：装置なし

[b] 釜の給油サイクル（推奨値：50000）

[c] ヘッドの給油サイクル（推奨値：400000）

(2) 値を選択し、[セット]する



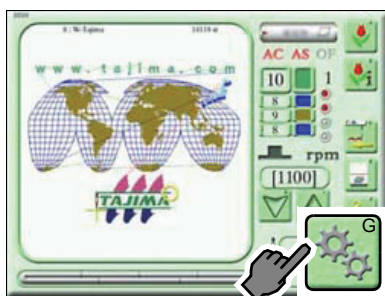
給油サイクルの設定

4-2. TMAR TYPE-2、TMAR-VC

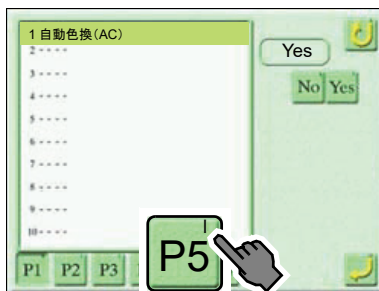
本機の稼働中、設定したステッチ数（給油サイクル）に達すると装置が自動で給油します。釜とヘッドへの給油サイクルは個別に設定します。

(1) 給油サイクル（釜）の設定

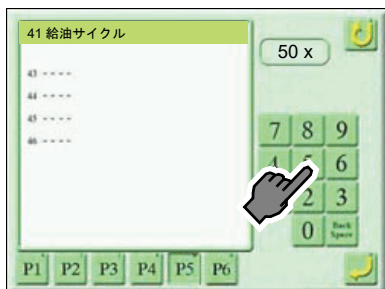
1. アイコン G



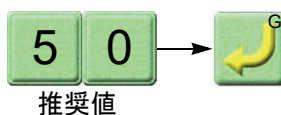
2. P5



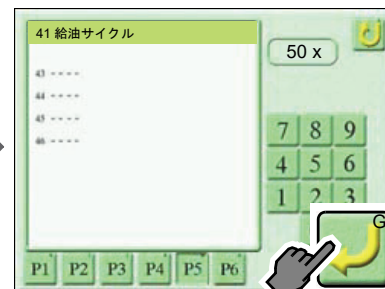
3. 給油サイクルを入力



例：50,000 針に 1 回給油を行う。

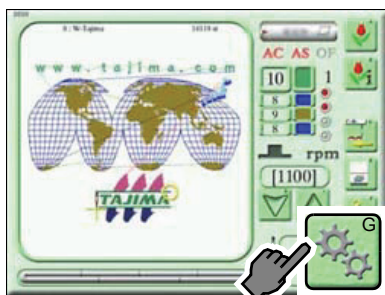


4. セット

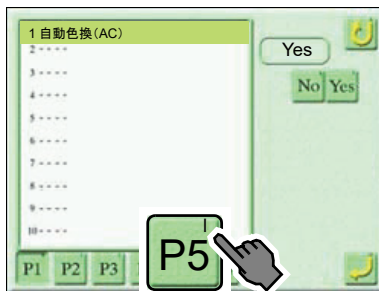


(2) 給油サイクル（ヘッド）の設定

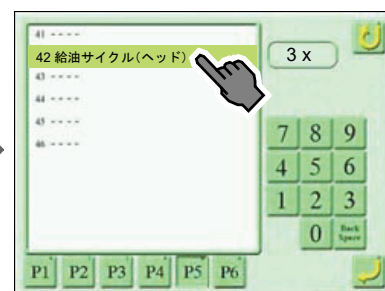
1. アイコン G



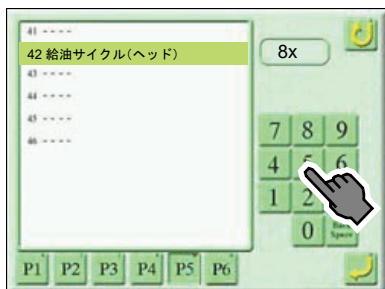
2. P5



3. 42 給油サイクル（ヘッド）



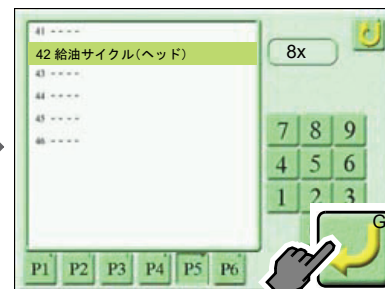
4. 給油サイクルを入力



給油サイクル（ヘッド）は、「41 給油サイクル（釜）」を積算した値です。

例：「42 給油サイクル（ヘッド）」を 400,000 針に 1 回にする場合、「8」を選択してください。

5. セット



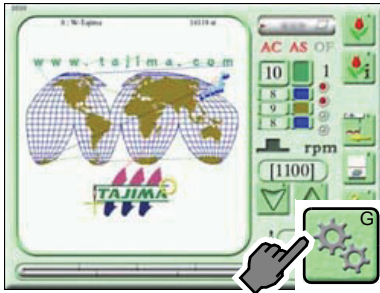
給油サイクルの設定

4-3. TMCR、TMCP

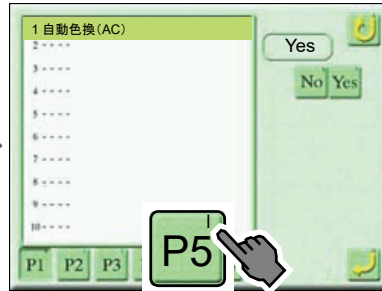
本機の稼働中、設定したステッチ数（給油サイクル）に達すると装置が自動で給油します。釜とヘッドへの給油サイクルは個別に設定します。

(1) 給油サイクル（釜）の設定

1. アイコン G



2. P5



3. 給油サイクルを入力



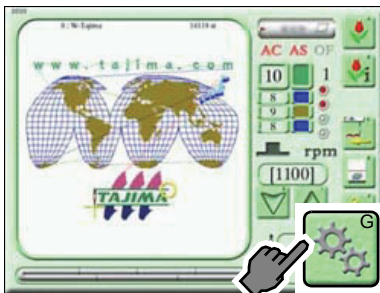
例：50,000 針（推奨値）に 1 回給油を行う。
1,000 は、メンテナンス用ですので選択しないでください。

4. セット

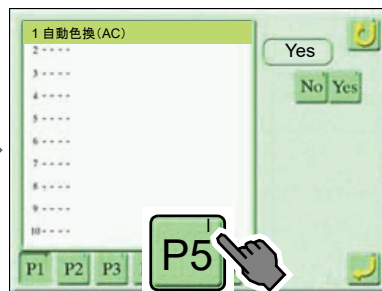


(2) 給油サイクル（ヘッド）の設定

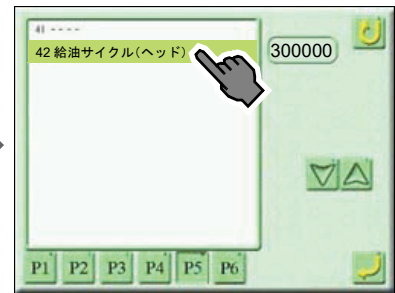
1. アイコン G



2. P5



3. 42 給油サイクル（ヘッド）

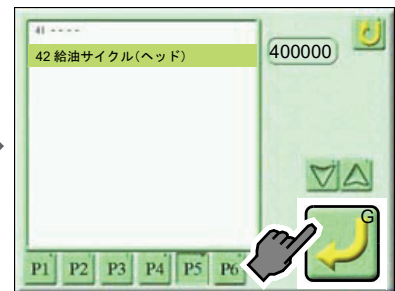


4. 給油サイクルを入力



例：400,000 針（推奨値）に 1 回給油を行う。
0 と 1,000 は、メンテナンス用ですので選択しないでください。

5. セット



5. ソフトインストール後の設定

ソフトインストール後、パラメータが下表の設定内容になっていることを確認してください。

	パラメータ	設定内容
TMAR TYPE-2、TMAR-VC、 TMCR、TMCP	P7 77 オプション装置 (ハード) 9 自動給油装置	YES バルブあり
TLMX、TFMX	F3 6 自動給油	YES

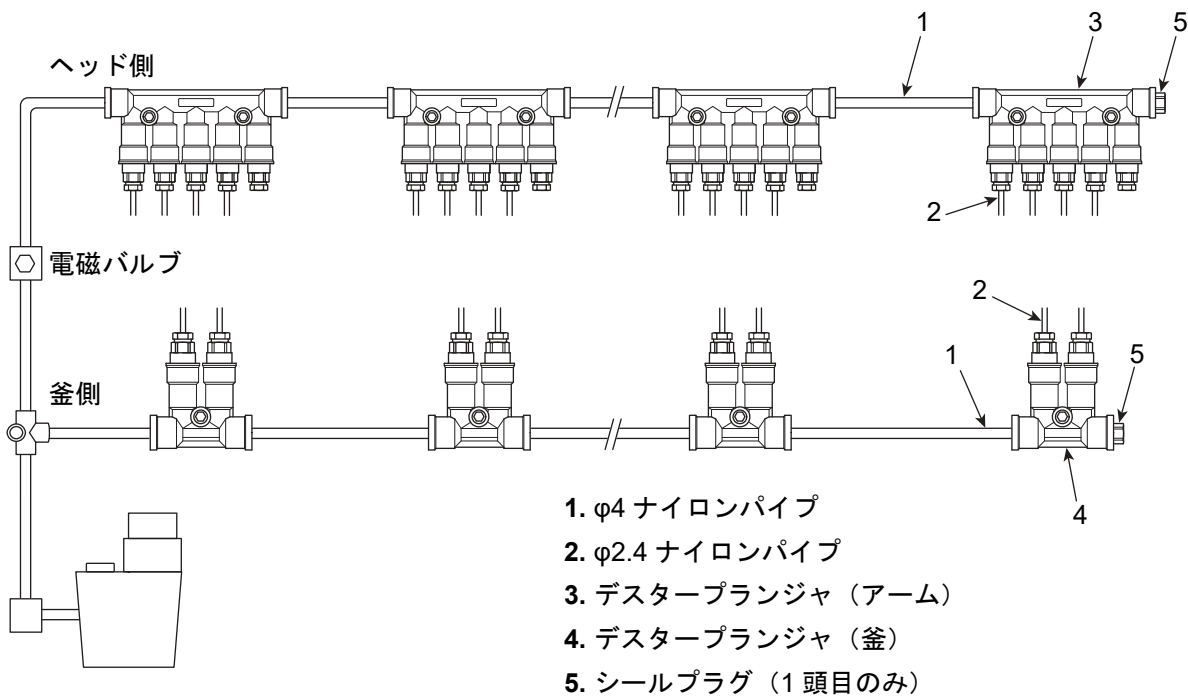
6. メンテナンス

6-1. ナイロンパイプ内のエア抜き

注意

⚠ エア抜きすると、エアと共に多量のオイルが流れ出して機械が汚れます。シールプラグ（下図 5）を緩めるときは、受け皿等でオイルを受け止めるようにしてください。

ナイロンパイプ（下図 1、2）やデスタープランジャ 3 の交換などによってナイロンパイプ 1、2 にエアが混入すると、給油量が不正確になります。エアが混入したときは、以下の手順でエア抜きをしてください。



(1) φ4 ナイロンパイプの場合

[a] 目視でエアの混入位置を確認してください。

[b] エアが混入している側（ヘッド、または釜）のシールプラグ（上図 5）を緩めてください。

[c] 操作パネルで「手動給油」を行ってください。この操作によってφ4 ナイロンパイプ（上図 1）にオイルが送り込まれ、シールプラグ 5 を緩めたところからエアがオイルとともに外へ排出されます。1 回の操作でエアが抜けないときは、繰り返し操作してください。

[d] ナイロンパイプ内のエアがすべて抜けたら、シールプラグ 5 を締めてください。

メンテナンス

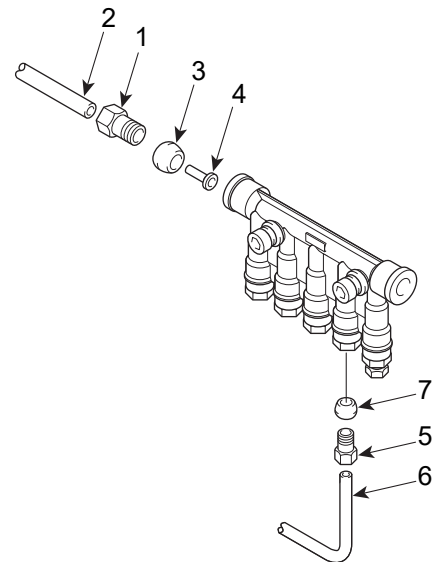
(2) φ2.4 ナイロンパイプの場合

- [a] 目視でエアの混入位置を確認してください。
- [b] 操作パネルで「手動給油」を行ってください。この操作によってφ2.4 ナイロンパイプ（上図 2）にオイルが送り込まれ、ヘッド内部や釜に給油されます。エアが抜けるまで繰り返し操作してください。
- [c] ヘッド各部や釜から排出されたオイルを拭き取ってください。
- [d] 十分に機械の空回しを行い、釜にたまったオイルを飛散させてください。

6-2. ナイロンパイプの交換

(1) φ4 ナイロンパイプの場合

- [a] シメツケプラグ（右図 1）を緩め、φ4 ナイロンパイプ 2、スリーブ 3、およびチューブインサート 4 を取り外してください。
 - [b] φ4 ナイロンパイプ 2、スリーブ 3、およびチューブインサート 4 を新しいものに交換してください。
- [注記]
シメツケプラグ 1 は手締めしたのち、スパナで 1/2 回転増し締めしてください。



(2) φ2.4 ナイロンパイプの場合

- [a] シメツケプラグ（右図 5）を緩め、φ2.4 ナイロンパイプ 6、およびスリーブ 7 を取り外してください。
 - [b] φ2.4 ナイロンパイプ 6 とスリーブ 7 を新しいものに交換してください。
- [注記]
シメツケプラグ 5 は手締めしたのち、スパナで 1/4 回転増し締めしてください。

初版 2010年10月

13 版 2024年3月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地

TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地

TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230